

カラオケ使用者連盟 平成22年度通常総会を開催

全国より代議員が集まり 平成22年度の活動計画について議論。

去る5月19日（水）、東京麹町の弘済会館にて、平成22年度通常総会が開催されました。

市川理事の開会宣言後、鈴木理事長が挨拶に立ち、議事を進行。平成21年度事業報告、同収支決算報告、平成22年度事業計画案、同予算案といった4議案が審議され、全てが満場一致で承認されました。

総会後には集まった代議員に加え、日頃当連盟がお世話になっている関係各所から来賓を迎えて懇親会が催されました。鈴木理事長は「去年は、第21回全国生涯学習フェスティバルまなびピア埼玉2009に賛同し、あわせてカラオケ愛好者によるカラオケ大会も開催させていただいた。またカラオケ著作権の適法利用を目指し、全国社交飲食業生活衛生同業組合連合会とともに、カラオケ設置店の環境整備等にもむけて努力してきた。私たちを取り巻く環境はますます厳しくなっているが、今こそ、会員同士手を携えて乗り切っていくた



い」と挨拶。

来賓を代表して文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課民間教育事業振興室 江川裕幸様、全国社交飲食業生活衛生同業組合連合会会長 濱田康喜様からご祝辞を頂戴しました。その後一般社団法人日本音楽著作権協会常任理事 近藤正美様の乾杯の後、参集した代議員らとともに"カラオケ文化"および"生涯学習"について熱く語り合うひと時を持ちました。



ご祝辞を賜った文部科学省 生涯学習政策局 生涯学習推進課 民間教育事業振興室 江川裕幸様



ご祝辞を賜った一般社団法人日本音楽著作権協会 常任理事 近藤正美様



ご祝辞を賜った全国社交飲食業生活衛生同業組合連合会 会長 濱田康喜様



挨拶に立つ鈴木武夫理事長

全国11エリアで平成22年度通常総会を開催

5月19日の本部通常総会の決議を受け、全国11エリアでエリア通常総会を開催しました。各会場では平成21年度活動報告、同収支決算報告並びに監査報告、平成22年度事業計画案について、説明と審議が行われました。

平成21年度 事業報告

【概要】

昨年5月の総会で掲げた事業計画を基に、組織の強化と拡充を第一目標として活動して参りました。主な内容としては、カラオケオペレーターの全国団体である「全国カラオケ事業者協会」の協力を得て、新しく開業する店舗に対する加入促進活動を展開致しました。

また、全国社交飲食業生活衛生同業組合連合会と相互交流を行い、共に団体を構成する社交場の環境衛生と社会基盤の構築を目指しました。

事業推進

10月30日(金)～11月3日(火)、埼玉県で開催された「第21回全国生涯学習フェスティバル/まなびピア埼玉2009」に参加。主会場となったさいたまスーパーアリーナ内特設会場にカラオケ体験コーナーを設置し、大勢の方々に生涯学習としてのカラオケ利用を提案しました。

また、「まなびピア」の参加事業として、既にカラオケを生涯学習として楽しんでいる方に発表の場を提供し、その視野を広げることを目的にカラオケ大会を実施しました。10月31日(土)、プラザウエストさくらホールにて行われた『まなびピア埼玉カラオケ大会』には予選大会通過者の54名が一堂に介し、熱戦を繰り広げました。

加えて、全国カラオケ事業者協会が主催する市場活性化キャンペーン「歌ってフェスタ2009」に協賛。会員店舗へキャンペーンツールの提供を受け、9月1日から10月31日までの間、「店へお客様が来店する動機付け」「カラオケを歌ってもらう動機付け」に役立てました。

組織の拡充

平成21年度は「全国カラオケ事業者協会」の協力を得て加入申込の促進の継続を図った結果、新規入会件数を957店得ました。

しかし、廃業に伴う退会件数も879店にのぼり、平成21年度末時点での有効会員数は6,248店にとどまりました。

広報活動

会員の意思疎通を図ることを目的に機関紙を作成し、第21号を9月1日、第22号を12月1日に全会員へ配布しました。

また、生涯学習としてのカラオケ施設利用の促進を提唱した、生涯学習フェスティバル等の機会を通じ、パンフレット配布やパネル展示を行いました。

著作権啓蒙活動

音楽著作物使用料の適正な支払を呼びかけるチラシを作成し、会員へ配布しました。

また、新規入会希望店舗に対する「音楽著作物利用許諾契約」有無確認の後、未契約店に対しては締結推進と使用料の納付徹底を呼びかけました。

その他

カラオケ使用者連盟2010年版カレンダーをフリーダイヤルの告知と会員店舗の証として、作成し配布しました。

貸借対照表 平成22年3月31日			
資産の部		負債の部	
現金	199,095	前貸金	1,751,750
送付預金	4,062,129	預り金	107,655
預け金	57,000		
		純資産の部	
		翌年度繰越額	2,458,819
		(うち当年度収支差額)	(-860,002)
資産合計	4,318,224	負債・純資産合計	4,318,224

損益計算書 自平成21年4月1日 至 平成22年3月31日			
支出の部		収入の部	
事業費	14,089,716	会費収入	19,330,750
一般管理費	10,727,185	その他収入	4,626,149
支出合計	24,816,901	収入合計	23,956,899
当年度収支差額	-860,002		
合計	23,956,899	合計	23,956,899

財産目録 平成22年3月31日			
現金	期末現在現金手元有価		199,095
送付預金	三井住友銀行 目黒支店 No1159466		3,662,129
送付預金	エリア預金		400,000
預け金	仲介事業者預り金(新規14件分)		57,000
		資産合計	4,318,224

前貸金	平成22年度 入会金		59,500
前貸金	平成22年度 正会員費		1,674,170
前貸金	平成23年度 正会員費		18,080
預り金	仲介事業者預り金		107,655
		負債合計	1,859,405

平成22年度 事業計画

1.事業指針

- 組織の強化と拡充を目標に掲げ、カラオケ設置店の全国組織としての強固な組織基盤を構築する。
- 「生涯学習の場としてのカラオケ施設利用の促進」「カラオケを通じた文化振興活動の推進をテーマに事業を展開する一方、会員の利益向上に役立つ活動を研究し実践する。
- 「カラオケ使用者を取り巻く諸問題の解決」について継続検討を行い、団体としてその解消に努める。

2.事業計画

- 各エリア理事並びに都道府県会長が中心となり、会員拡大を行うと共に全国社交飲食業生活衛生同業組合連合会の組織拡大に協力する。
- 11月20日より3日間開催される、「全国生涯学習フォーラム/まなびピア高知2010」に参画する。
- 関連団体と情報交換を行い、趣旨を同じくする事業に協賛する。
- 音楽著作権法の啓蒙普及活動を行うと共に、会内外のJASRAC著作物使用料の不払い店解消に努める。また、会員へ円滑な使用料納付を促し滞納防止を図る。
- 会員相互の意思疎通を図るため、年2回機関紙を発行する。
- 全国組織の利点を活かした組織運営の在り方を研究し、各エリア理事並びに都道府県会長および役員と、本部事務所の組織運営上の連携を更に密なものとする。
- 会員店舗の利用促進策として「ザ・採点」に協賛する。
- カラオケ喫茶や昼カラ営業店を中心とした「昼カラ部会」を設置し本部会を中心にカラオケ検定を実施する。
- 会員の連帯意識向上に役立つ企画を研究し実行する。

平成22年度収支予算(案) (自平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)			
【収入の部】			
科目	金額	備考	単位:円
会費収入	19,300,000		
入会金	500,000	100円×5,000名	
正会員費	19,000,000	前年度実績(18,852,250円)	
会費外収入	4,300,000	出賃事業収入及び協力金(400万円)	
当期収入合計	23,800,000		
前期繰越額	2,458,819		
合計	26,258,819		

【支出の部】			
科目	金額	備考	単位:円
事業費	14,300,000		
1)会費費	1,000,000	総会、理事会他	
2)経費・交通費	1,000,000	組合費、交通費	
3)広報費	600,000	機関紙発行	
4)事業推進費	2,000,000	生涯学習フォーラム	
5)組織強化費	1,200,000	カレンダー	
6)遠征研修費	1,000,000	研修料、団体協力	
7)音楽著作権化対策費	1,500,000	「ザ・採点」協賛	
8)昼カラ部会	1,500,000	カラオケ検定準備費	
9)関係会費	4,500,000	全社連	
一般管理費	11,100,000		
1)職員給与手当	6,500,000	本部事務所員1名、アルバイト	
2)福利厚生費	500,000		
3)消耗品費	100,000		
4)通信費	2,000,000	電話料金、機関紙発送費	
5)印刷費	300,000	封筒、入会申込書	
6)渉外費	200,000	慶弔費	
7)雑費	500,000		
8)旅費出張費	1,000,000	検定手数料、振込手数料	
当期支出合計	25,400,000		
予備費	858,819		
合計	26,258,819		

まなびピア高知2010に カラオケ使用者連盟が参加します。

全国生涯学習フォーラム「まなびピア高知2010」へ参加します。この催しは文部科学省と開催地である高知県が共催して行うもので、昨年までは全国生涯学習フェスティバルとして行っていましたが、今年より全国生涯学習フォーラムと名前を変えて高知ぢばさんセンター（高知市布師田3992-2）を中心に各地域開催市町村で開催されます。

当連盟としては催しに参加し、「生涯学習の場としてのカラオケ施設利用促進」をアピールして参ります。また、カラオケを生涯学習としてお楽しみいただいている皆様に、日ごろの成果を試す機会「まなびピア高知2010カラオケ大会」を11月20日、午後1時より夜須町中央公民館マリンホールにて実施いたします。

大会のテープ予選には高知県で行われる決勝大会へ参加できる方なら誰でも応募可能です。ふるってご応募ください。

まなびピア高知2010カラオケ大会テープ予選

応募要項/テープに自分の声をフルコーラス録音し、「曲名」「住所」「氏名」「年齢」「職業」「電話番号」を明記の上、下記へ郵送ください。応募テープは返却しません。

締切/平成22年9月15日（水）（消印有効）

連絡/予選通過者へは9月下旬に直接通知いたします。

（通知は予選通過者に限らせていただきます）

応募資格/応募・出場ともに無料ですが11月20日（土）に行われる決勝大会へ出場出来る方とします。

送付先/〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-11日黒西口マンション2号館503カラオケ使用者連盟「まなびピア高知2010カラオケ大会」/テープ予選係

まなびピアを主催する文部科学省 生涯学習政策局の活動について

まなびピア「生涯学習フォーラム」は国内最大規模の生涯学習の祭典です。主会場となる開催地方自治体と文部科学省生涯学習政策局が中心となりこのイベントを運営しています。

文部科学省生涯学習政策局は教育改革を推進するため、基本的な政策の企画・立案、国内外の教育に関する調査、教育の情報化に関する政策を進めています。

生涯学習社会の実現を目指し、社会教育の振興、男女共同参画の推進、家庭教育の支援のほか、放送大学の充

実・整備、専修学校・各種学校の振興に関する事務を行っています。

まなびピア以外にも家庭の教育力の向上を目的とした「早寝早起き朝ごはん」や教育分野における再チャレンジ支援として大学・専修学校等における「学び直し」を支援、また子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設ける「放課後子どもプランの推進」など、身近なところでも生涯学習の輪は日々広がっているのです。

JASRACが一般社団法人日本音楽著作権協会に

JASRACは、これまでの「社団法人 日本音楽著作権協会」から、2010年4月1日付けで、「一般社団法人 日本音楽著作権協会」と改組しました。これまでの、利用許諾契約、管理委託契約等に変更はありません。また、業務内容等にも変更はありません。

一般社団法人への移行後も、音楽著作権を保護し、従前にも増して音楽文化の普及発展に取り組まれますので、引き続き、皆さま方のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

フリーダイヤルをご利用下さい。

経営者変更・お店の移転・閉店などのお知らせは通話料無料のフリーダイヤルをご利用下さい。なお、携帯電話・PHSからは03-3495-5695までご連絡をお願いします。

経営者変更・移転・閉店など、各種ご連絡は

0120-56-4056

携帯電話・PHSからは 03-3495-5695

〇〇音楽著作物使用料の未払い・滞納は絶対にやめましょう〇〇

カラオケを利用する店舗が支払っている音楽著作物使用料は、JASRACによって楽曲の権利者（作詞・作曲者）へ分配され、新しい作品づくりの糧となっています。当連盟ではカラオケを利用する全ての店舗に、音楽著作物使用料の未払いや滞納防止を呼びかけています。会員各位におかれましても、自店はもとより、同業他店に対しても使用料の支払いや滞納解消を呼びかけましょう。

市場活性化キャンペーン「ザ・採点」が、9月1日より開催されます。

採点で歌って得しよう！

100点もしくは99点で10万円！ 88点、77点でも1万円が当たるチャンス！！

ザ・採点

平成22年9月1日(水) ~ 10月31日(日)



本キャンペーンはカラオケの採点機能を使った市場活性化キャンペーンです。カラオケ採点で77以上のゾロ目（100点、99点、88点、77点）を出してください。応募に際して詳しくは同封の「店舗向け説明書」をご覧ください。

【ザ・採点を集客増につなげよう！】

ポスターを貼って、カラオケ採点機能をON！
どんどん歌ってもらいましょう。

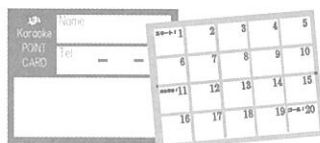


<お店からの専用アドレス>
saiten@karanavi.net
QRコードで読み取ったアドレスへ保存したゾロ目写真を添付してメール送信！

88点もしくは77点ゾロ目賞
1万円分の商品券・・・200本

100点もしくは99点ゾロ目賞
10万円分の商品券・・・10本

応募だけでなく、採点結果を使って話題づくりと集客につなげてください。



～ビンゴカード～ ～カラオケポイントカード～

カラオケ採点機能にプラスαでこんなにも盛り上がる！！

「ザ・採点」やカラオケ採点をさらに盛り上げるために採点機能を使ったビンゴカードとポイントカードが同封されています。

～ビンゴカード～

-遊び方-

1. お店のカラオケ採点機能をセット。
2. お好きな曲を選曲。
3. ルールは通常のビンゴと同じです。タテ・ヨコ・ナメの1列でも揃ったらビンゴ(上がり)となります。

-参加料と景品例-

- 1枚100円の参加料で実施
最初にビンゴが揃った人に生ビールをプレゼント。
- 1枚300円の参加料で実施
早くビンゴが揃った3人に予め用意した賞品をプレゼント。
- 1枚500円の参加料で実施
最初にビンゴが揃った人にボトルをプレゼント。

～カラオケポイントカード～

-使い方-

1. 表面下段のお店のスタンプ欄にゴム印などを押印。
2. 表面のName欄とTel欄にお客様の名前と連絡先を記入。
3. 裏面ポイント欄に採点結果に応じてポイント印を付与。
4. 20ポイント達成時に何かをプレゼント（あくまで任意です。お店の判断で無理のない範囲で設定下さい）。

-使用例-

- 採点結果が90点以上で1ポイント。達成時にボトルプレゼント。
- ゾロ目で1ポイント、85点以上で1ポイント。達成時にはボトル半額。
- その日の下一桁の数字と採点結果の下一桁が同じなら1ポイント達成時にボトルプレゼント。

キャンペーン内容については同封の店舗向け説明書またはポスターを御覧ください！

守ろう! 著作権

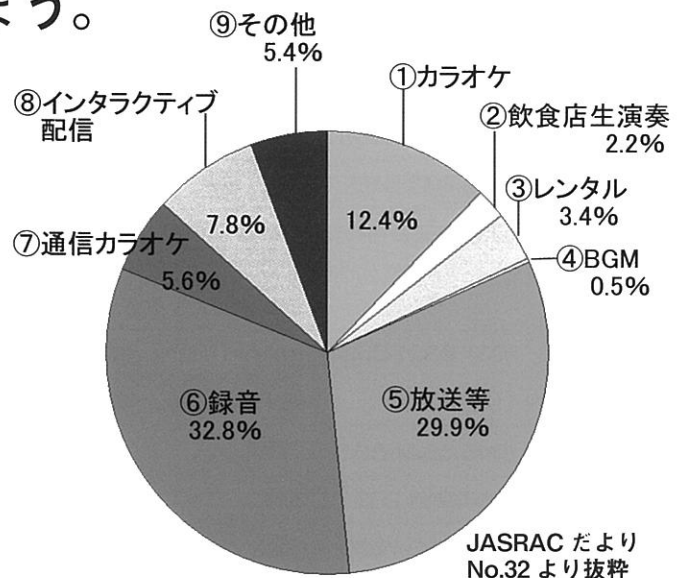
当連盟では音楽著作物利用許諾契約の締結措置を行っています。

音楽著作物使用料は JASRAC によって楽曲の権利者（作詞・作曲家等）へ分配され、新しい楽曲を作る糧となっています。

音楽著作物使用料の未払いや滞りがあると、楽曲の権利者にとって負担が増し、結果として音楽業界の衰退を招くこととなります。カラオケで音楽を利用する我々は、著作権ルールを守り、尊重し、健全な音楽文化の発展に協力しましょう。

2009 年度著作物使用料分配額

2009年度、JASRAC が権利者に分配した著作権使用料（約 1088 億 200 万円）のうち、会員の皆様が関係する利用形態の分配額は約 135 億円。分配額の 12.4%（右グラフ「①カラオケ」）を占めており、3 番目に多い額となっています。



当連盟の会員は、全国社交飲食業生活衛生同業組合連合会（全社連）へ賛助会員登録をいただくことにより、音楽著作物使用料の団体割引（2 割引）が適用されます。



カラオケ使用者連盟

〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-11
目黒西口マンション2号館503
TEL 03-3495-5695 FAX 03-3495-5694

0120-56-4056

2009 年度分配額が多かったカラオケ BEST5

順位	作品	アーティスト	作詞者	作曲者
1	愛のままで…	秋元 順子	花岡 優平	
2	キセキ	GReeeeN	GReeeeN	
3	Ti Amo	EXILE	松尾 潔	Jin Nakamura 松尾 潔
4	ハナミズキ	一青窈	一青窈	マシコ タツロウ
5	M	プリンセス・プリンセス	富田 京子	奥井 香

お店が移転した時や、経営者が変わった時、カラオケを使用しなくなったり、閉店した時などは、所轄のJASRAC各支部まで必ずご連絡ください。また併せて当連盟（カラオケ使用者連盟）までご一報願います。

『住所・名義・店名・電話番号』など契約時の内容に変更が生じた時は速やかに JASRAC の支部へ連絡する必要があります。場合によっては月額使用料の割引措置が外れる場合もあります。

JASRAC の月額使用料の2割引措置は、当連盟を通じて「全国社交飲食業生活衛生同業組合連合会」へ賛助会員の登録を完了し、この登録内容と JASRAC の登録内容が一致していることが前提となります。よって契約時に割引が適用されても、その後の変更で JASRAC と当連盟登録内容に不一致が生じた場合には割引措置が取り消されることとなります。登録内容に何かの変更が生じた際には必ず JASRAC と当連盟、どちらにも連絡いただくようお願いいたします。



JASRAC 各支部 お店が移転した時、広さや業態が変わった時、カラオケを使わなくなった時や閉店時などは、所轄の JASRAC 各支部及びカラオケ使用者連盟 (TEL/03-3495-5695) へご連絡ください。

管轄支部	連絡先	お店の場所	管轄支部	連絡先	お店の場所
北海道支部	(011)221-5088	北海道	北陸支部	(076)221-3602	石川、富山、福井
仙台支部	(022)264-2266	青森、秋田、岩手、宮城、山形、福島	京都支部	(075)251-0134	京都、滋賀、奈良
大宮支部	(048)643-5461	埼玉、栃木、群馬、長野、新潟	大阪支部	(06)6244-0351	大阪、和歌山、兵庫
東京支部	(03) 3562-4455	東京都 (中央区、千代田区、港区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、大田区、北区、荒川区、足立区、葛飾区、江戸川区、島しょ部)、千葉県、茨城県	中国支部	(082)249-6362	広島、岡山、山口、鳥取、島根
西東京支部	(03) 5321-9530	東京都 (新宿区、目黒区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、板橋区、荒川区、練馬区、市部、郡部) 山梨県	四国支部	(087)821-9191	香川、徳島、高知、愛媛
横浜支部	(045)662-6551	神奈川	九州支部	(092)441-2285	福岡、大分、佐賀、長崎、熊本
静岡支部	(054)254-2621	静岡	鹿児島支部	(099)224-6211	鹿児島、宮崎
中部支部	(052)583-7590	愛知、岐阜、三重	沖縄支部	(098)863-1228	沖縄

フリーダイヤルをご利用下さい。

経営者変更・お店の移転・閉店などのお知らせは通話料無料のフリーダイヤルをご利用下さい。なお、携帯電話・PHSからは03-3495-6595までご連絡をお願いします。

経営者変更・移転・閉店など、各種ご連絡は



0120-56-4056

携帯電話・PHSからは 03-3495-5695